



# 時には一緒に、時には別々に親子"が"共に楽しむ小豆島

# 『親子でみつける小豆島』

子供が生まれると夫婦の生活はどうしても子供中心になってしまいます。たまには夫婦水入らずで楽しみたいものです。でも、子供を放ったらかしにすることは出来ません。ならば「子供が楽しんでいる間に」夫婦水入らずになる時間を作ってしまおう。それが「親子でみつける小豆島」です。このサービスはホテルが行う旅行パッケージです。日中、子供達はホテルが用意した様々なイベントに参加します。その間、夫婦はどこでも自由に観光します。そして、夕方にホテルで合流する。そんなパッケージです。



#### プロジェクトメンバー

芝浦工業大学デザイン工学部2年 芝浦工業大学デザイン工学部2年 芝浦工業大学デザイン工学部2年 芝浦工業大学デザイン工学部1年 香川大学経済学部2年 有馬 悠弥 田崎 悠悟 松井 彩也子 山縣 蒼平 大塚 唯倭

#### ポイント

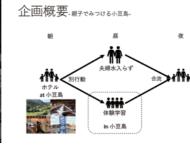
## 「島内限定が生む安心感」と「小豆島の立地条件」

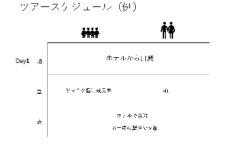
小豆島は、フェリーに1時間乗るだけで他の様々な場所にアクセスすることが出来ます。拠点にするには絶好の場所です。そして、小豆島そのものもオリーブやそうめん、醤油、野生生物など、様々な体験ができます。そして、小豆島は「島」です。この好条件があるからこそ、この

サービスは成立します。

子供は常に島内にいるので安心、 そして両親はどこへでも行ける。これはまさに小豆島にしかない財産です。「子供と親が別々に行動して、跡から合流する」というサービスは、やろうと思えばどこでも出来ます。ですが、それが果たして魅力的なコン テンツになるだけの可能性を秘めているか?と言われると、必ずしもそうではありません。私達は小豆島や高松のフィールドワークリサーチを通じて、このサービスの良さを最大限発揮できる場所はここにしかないと確信しました。







#### 想

## 地域を学ぶ実践的な機会

私がこのプログラムを通して1番 印象に残ったことは、香川や小豆島 の良さが体感して初めてわかったこ とです。自分は東京生まれ東京育ち で、四国に来たこともなく、恐らく機 会がなければこの先も行かなかっ たかもしれません。

しかし、1度香川に来てしまうと自 然の豊かさと思いのほか便利である ことの両立にまず驚かされました。 島ならではの目の前には海、背後に は山、という美しい対比、その中で育 まれた魚やオリーブなどの名産品な ど、全身で香川の自然を体感するこ とが出来ました。さらに印象的なの は、香川や小豆島の人々の温かさで す。今回有難いことに様々な方にご 協力頂きましたが、地元の方達は皆 小さい頃からそこの自然や特産物、 歴史などに長年触れてきて、それに 対する感謝や愛着をとても深く持っ ていると感じました。

今回このような機会をいただけた こと、本当に嬉しく思います。ありが とうございました。

(松井 彩也子)

17